

『本荘ごてんまりを支えた人たち』

豊島スエノ

明治21年(1888)2月29日～昭和40年(1965)10月1日(享年77歳)

出身地 由利本荘市鮎瀬字鮎瀬

経歴 旧石沢村に生まれ、古くから近くの庵寺「広田庵」の木妙尼から村の娘たちに伝えられていた「かけまり」を製法を多くの人に伝授し、農村の手芸品として本荘ごてんまりの礎を作った。

斎藤ユキノ(旧名 田村正子)

児玉八重子(旧姓石塚)

経歴 昭和34年頃から二人で御殿まり作りに携わり、全国で唯一の三方に房をつける御殿まりを考案。さらに、本荘内職工芸組合の設立に協力し、講習会を開催するなど、「本荘ごてんまり」を特産品として広める基礎作りと普及に努めた。

斎藤さんは平成15年 旧本荘市功労者顕彰(産業功労)を受賞。

小松コノエ(別名 この枝)

大正6年(1917)9月13～平成4年(1992)11月12日(享年75歳)

出身地 本荘市中堅町

経歴

昭和34年この頃から豊島スエノから手まりを習い、製作活動に入る。

昭和36年 秋田国体で「本荘おばこ人形」と「ごてんまり」を贈り、好評を博す。

昭和46年 第2回全国ごてんまりコンクール本荘市物産協会会長賞受賞

昭和47年 秋田県知事から長年内職に携わったことで感謝状を受賞

平成2年 旧本荘市功労者顕彰(産業功労)を受賞

小糸 ツギ

昭和7年(1932)4月21日

現住所 由利本荘市大楸町

経歴

昭和38年 この頃、小友地区の仲間たちと御殿まりの製作を始める。

昭和45年 第1回全国御殿まりコンクールで見事、中小企業庁長官賞受賞。

昭和53年 第9回全国ごてんまりコンクールで本荘市長賞受賞。

小野アキ

昭和12年(1937)10月6日

現住所 由利本荘市東梵天

経歴

昭和39年 この年からごてんまりの製作を行う。

昭和49年 一級手芸認定証授与、講師免状取得。以後市主催の御殿まりの講師を務めている。

全国ごてんまりコンクール上位受賞記録

中小企業庁長官賞 第2回大会(s46)、第3回大会(s47)、第5回大会(s49)、第22回(h3)、第24回大会(h5)

秋田県知事賞 第11回大会(s55)、第12回大会(s56)

本荘市長賞 第7回大会(s51)、第10回大会(s54)、第25回大会(h6)